

2022 年度徳島大学研究クラスター募集要領

徳島大学 研究戦略室会議

1. 研究クラスターの趣旨

徳島大学では、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを理念としている。また、第4期中期目標期間においては、社会の変化や SDGs の課題に対応し、持続可能でインクルーシブな社会、多様性にあふれる社会の実現に向けて理系に強みを有する本学の特徴を活かし、教育・研究を充実・強化するとともに、先端医療の推進や産学官連携を通じて地域創生をリードをすることを基本方針として掲げている。

これらの理念や基本方針の実現に向けた研究を推進するためには、学部や研究分野を超えた横断的研究を行うなど、大学として新たなイノベーション創出ができる環境を作る必要がある。そのため、第3期中期目標期間に引き続き、分野を超えた複数の研究者からなる研究集団(研究クラスター)を組織し、研究費を効果的に配分するとともに、本学の理念実現に貢献できる研究を選定・支援する体制を構築していく。

さらに、本制度により、本学の研究者が行っている、更なる発展が見込まれる研究や社会実装される研究を、重点的かつ戦略的に支援することで、効果的で社会的なインパクトの創出を目指す。

2. 研究クラスターの意義、目的

地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ(令和4年2月 CSTI 決定)では、今後、地域の中核大学には、特定分野の高い研究力の強化、人材育成や産学連携活動を通じた地域の経済社会、日本や世界の課題解決への貢献のために、地域の中核となる大学が強みや特色を最大限に活かし、発展できるような大学のミッション・ビジョンに基づく戦略的運営の実現が求められている。

この方針に基づいて、第4期中期目標期間から、各大学のミッションの実現の更なる加速のために、大学運営の基盤となる運営交付金内にミッション実現加速化経費が措置されることとなった。この経費の枠組みは、6年間の中期目標期間を通じて継続され、このミッションの達成度により、第5期の運営費交付金配分に大きく反映されることとなっている。^{※1}

これまで、本学では、「研究クラスター制度」により、研究活動やその成果を発信し、「徳島大学の強み」を更に明確化することで、一地方の大学でありながらキラリと光る地方大学づくりを進め、「地方大学・地域産業創生交付金」「共創の場形成支援プログラム」への採択を受けるなど一定の成果をあげてきた。

今後、このクラスター制度を、これまでの取組みを継続しつつミッションの実現へと連動させるため、研究戦略の目標として、「大学間連携」、「産学官連携」、「国際連携」、「若手育成」、「研究拠点形成」を掲げ、各項目を達成するため徳島大学の強みとして実績のある「光工学」、「免疫・慢性炎症」、「食・栄養」、「創薬・合成化学」、「がん」の5つを重点研究領域として設定した。またその領域の取りまとめを担う、優れた実績を有する研究者を PM ^{※2} に任命するとともに、それぞれの領域にミッション実現クラスター ^{※3} を設置し、ミッションの実現を期待することとした。

このたび、ミッション実現クラスターと融合し、社会実装や基礎研究の更なる推進を目指す研究課題、又は、新たな重点研究領域の創成につながる、萌芽的・独創的な研究課題を支援する「インキュベーションクラスター」を公募する。

なお、応募課題の中から、卓越した研究課題であり、これまでの実績からも本学が掲げるミッションの実現が可能となる提案については、ミッション実現クラスターとして設置する場合がある。

※1 本学における第4期中期目標期間のミッションの詳細は、

https://www.tokushima-u.ac.jp/about/concept/medium_plan/ に記載

※2 PM(プログラムマネージャー)

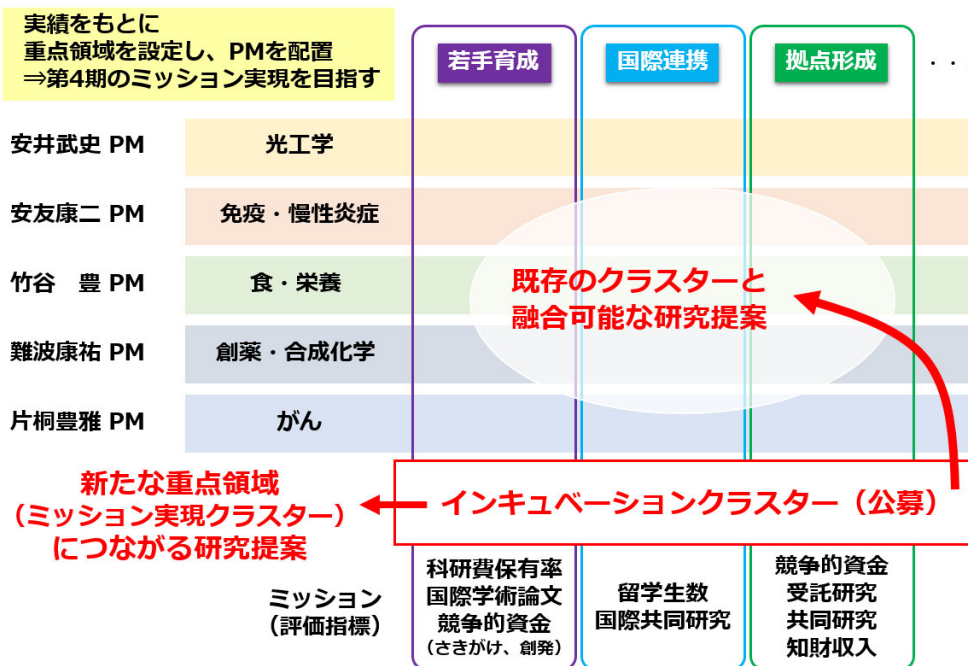
技術革新につながる挑戦的な研究開発を推進するためには、個々の組織に閉じることなく、優れた技術を国内外から採り入れ、より高い研究開発目標を達成することが必要となる。そのため、研究開発構想を立案し、優れた研究シーズや研究者を目利きし、分野や組織を超えて複数のプロジェクトを束ねたプログラムを編成することができる人物。

※3 ミッション実現クラスターの詳細は、

<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/about-cluster.html> に記載

3. 募集研究課題

- ミッション実現クラスターと融合し、社会実装や基礎研究の更なる推進につながる研究課題
- 現状ではミッション実現クラスターとは直接リンクしないが、新たな重点研究領域につながる、萌芽・独創的な研究課題



4. 支援研究費

1課題あたり、最大 3,000 千円

- (1) 支援研究費は、研究戦略室会議での評価により査定する。
- (2) 5つのミッション実現クラスターにつながる研究課題であると評価されたインキュベーションクラスターには、ミッション実現クラスターから若手研究者支援等の支援研究費を別途措置する場合がある。

5. 支援予定件数

2022年度：10件程度

(注) 現時点での予定であり、申請の状況によって変動する可能性がある。

6. 支援期間

支援決定後、2023年3月31日までとする。

(注) 継続の経費支援の希望がある場合には、研究進捗状況を評価し、次年度の経費を支援する場合がある。ただし、経費支援は原則として2カ年度を上限とする。

7. 研究期間（登録期間）

原則として、登録した年度を含めた3か年度とする(経費支援の上限は2カ年度(上記6. 参照))。

8. 応募資格

本学の常勤研究者であり、複数の研究室から構成される研究クラスターの代表者(研究クラスター一長)であること。

9. 留意事項

- (1) 若手研究者^{※5}や女性研究者が代表者である研究チームの応募を奨励する。
- (2) 研究分担者として異なる学部・学系等の連携・融合を原則とし、連携研究者として、他研究機関、企業等からの参画を奨励する。また、博士後期課程学生・博士課程学生を積極的に参画させることも併せて、奨励する。
(注) 徳島大学学際的次世代研究者育成プログラムで採択されたひかりスカラー、うずしおスカラーは、いずれかの研究クラスターに参画することが必須となっているため、当該クラスター一長は経費支援を希望しない場合であっても、研究クラスターの登録を行うこと。
- (3) 研究クラスター長として登録できる件数は1件とするが、研究分担者として他の研究課題への参加は可とする。
- (4) 参加するすべての研究者は、申請時までに「研究活動上の不正行為に関する研究倫理教育の実施について」^{※6}に定められた研究倫理教育を受講済みであること。

(5) 原則として、登録された課題については、徳島大学研究クラスターホームページ ※7 にて「研究領域」「研究課題」「クラスター長の氏名」「所属する研究者氏名」「研究概要」「研究者の役割分担」「研究期間」を公表する。

※5 博士号取得後10年以内又は同等程度の研究歴を有する者(概ね40歳未満)

※6 研究活動上の不正行為に関する研究倫理教育の実施について

<https://gakunai.sangaku.tokushima-u.ac.jp/suishin/fusei/torikumi.html>

※7 研究クラスターホームページ

<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/>

10. 登録（申請）方法

別紙登録申請書に必要事項を記入し、研究・産学企画課研究企画係までメールにて提出

提出用アドレス：kskenkik@tokushima-u.ac.jp

11. 登録（申請）期限

2022年8月18日(必着) ※登録(申請)は通年可能

12. 選考方法

登録されたクラスターのうちから、研究戦略室会議にて下記に定める評価の観点に基づく評価を行い、インキュベーションクラスターを選定する。選定されたインキュベーションクラスターには、研究戦略室会議より、支援研究費を配分する。

13. 評価の観点

[評価の観点]

(1) 研究の方向性と研究遂行能力

(ア) 社会課題解決のため新たな知見の発見や複数の分野間での取組、新たな研究領域の開拓等を目指す、挑戦性・先進性の高い取組であること。

(イ) 研究実施に必要な人員・組織体制が整っていること。

(ウ) クラスター長が優れた研究遂行能力を有していること。

(2) 大学が掲げるミッション実現に向け、大学間連携、産官学連携、国際連携、若手育成、研究拠点形成を図る課題

(ア) 本事業の趣旨に合致した取組となっていること。

(3) 基礎的研究も含め、研究成果を明瞭に示すことができる課題

- (ア) 着想に至った経緯や関連する国内外の研究動向と本研究の位置付けが明確であること。
- (イ) 競合研究(技術)と比較した際の新規性及び優位性が明確であること。
- (ウ) 研究の目標・計画が具体的に設定され、どこまで明らかにするか明確に示されていること。
- (エ) 過去の研究成果を活用した取組については、本研究での取組により先駆的かつ実用的なものとなることが期待できること。

(4) その他

- (ア) 助成期間終了後に発展的・持続的な展開と将来の大型外部資金獲得が見込めるものを優先的に評価する。
- (イ) 若手研究者や女性研究者が研究代表者である課題を優先的に評価する。
- (ウ) ひかりスカラー、うずしおスカラーが参画する研究クラスターを優先的に評価する。

14. 支援決定後の義務

- (1) 学会発表や論文発表において、研究クラスター事業の支援を受けた旨を表記すること。

【記載例】

(和文) 本研究は徳島大学研究クラスター事業の支援を受けたものである。

(英文) This work was supported by the Research Clusters program of Tokushima University.



徳島大学研究クラスターロゴマーク ※8

※学内研究者や学外組織を巻き込んで成長していく徳島大学研究クラスターのエネルギーを、「渦」をモチーフに表現。渦を構成するさまざまな色のパーツは、多様な研究分野を示しています。

- (2) 研究クラスターの成果として発表された論文については、必ず「徳島大学オープンアクセスに関する方針」(2016年1月裁定)に従い、徳島大学機関リポジトリを利用して公開すること。
- (3) プレスリリース、受賞、クラスター経費による研究会等開催の際には、研究・産学企画課 (kskenkik@tokushima-u.ac.jp) に報告すること。(別途、写真の提供、記事の作成等を依頼する場合があります。)
- (4) 進捗状況報告書を提出すること。(2023年2月を予定)
- (5) 提出した進捗状況報告書に基づき、研究戦略室会議によるヒアリングが実施されることとなった場合は、当該ヒアリングを受けること。

※8 ロゴマーク

<https://cluster.tokushima-u.ac.jp/news/952.html>

15. スケジュール

募集期間:2022年7月13日(水)～8月18日(木) 12:00 厳守

審査期間:2022年8月下旬(予定)

結果通知:2022年9月下旬(予定)

支援開始:2022年10月上旬(予定)

本募集に関し不明な点や質問等がある場合は、以下まで連絡すること

【お問合せ先】

研究・産学連携部

研究・産学企画課 研究企画係

Email: kskenkik@tokushima-u.ac.jp

Tel: 088-615-2339 (内線: 7404)